



主要事業マネジメントシート

部局名 商工労働部

事業名	地域における若者と優良中小企業マッチング事業費(ものづくり人材支援プラットフォーム設置事業)											
予算額	H24 H25	千円()	千円()	H26 H27要求	千円()	千円()	実績	H24 H25	千円()	千円()		
事業の優先性	<input type="checkbox"/> 重点課題【知事重点分野】(項目名:) <input checked="" type="checkbox"/> 成長戦略(項目名: 成長を支える基盤となる人材の育成力強化) <input type="checkbox"/> その他(項目名:)					<input checked="" type="checkbox"/> 人口減少関係(項目名: 生産年齢人口の減少による労働力の減少) <input type="checkbox"/> 新・地震防災アクションプラン(項目名:)						
事業選択	役割分担	民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 民間では実施不可(行政がすべき役割) <input type="checkbox"/> 民間で実施するためのインセンティブとして実施 <input type="checkbox"/> その他 (理由)ものづくり人材の育成・確保は、企業努力だけでは限界があり、行政として「若手ものづくり人材」「後継人材」等を中長期的に確保・育成することが不可欠。				行政としての役割	<input checked="" type="checkbox"/> 府の役割 <input type="checkbox"/> 国の役割 <input type="checkbox"/> 市町村の役割 (理由)ものづくり人材の育成・確保は、地域の特性を踏まえた取組みが必要であり、本事業では、複数の市域を対象としているため、府が実施することが適切。				
	事業手法	手法の妥当性	本事業は、製造業が集積する大阪東部地域を中心に、ものづくり人材の育成・確保等を目的とした「ものづくり人材デスク」を、支援拠点であるものづくりビジネスセンター大阪(MOBIO)に設置し、商工労働部と教育委員会が連携を図り、人材支援のプラットフォームを構築するものである。企業とのつながりが深いMOBIOと連携することで、MOBIOにおける経営支援に加え、雇用推進室の人材支援を行うことにより、効率的な経営・人材面のトータル支援が可能となる。さらに、教育委員会とともに、高校生への新たなインターンシップ制度の創設・実施にも取り組んでいく。									
		受益と負担	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり(内容・水準:) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない(理由:) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担になじまない									
		将来のリスク管理	—									
	事業間調整	庁内での連携	MOBIOを運営するものづくり支援課と高校生のインターンシップ等を推進する高等学校課と連携して事業を実施する。									
	他事業との整合性等	中小企業の人材支援を行うプラットフォームは存在しない。										
事業効果	目標・指標	(事業目標)	ものづくり中小企業への若手人材等の就職、定着及び後継者の育成							-目標に達しなかった場合の改善方策		
		(指標)	(実績)									
		ものづくり企業開拓社数:300社 インターンシップ実施件数:30社 就職決定者数:10人										
	(事業期間)	H 27.4 ~ H										
コスト分析	(指標)											
	H24(フルコスト)	千円 / (分析単位)	=	千円	 (コスト分析結果)							
	H25(フルコスト)	千円 / (分析単位)	=	千円								
特記事項	<事業優先性や事業選択の判断に影響を与えるような事情が新たに発生した場合に記載>											